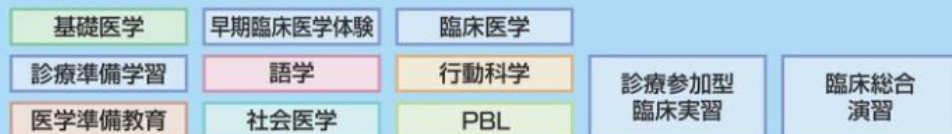


生涯教育

杏林大学医学部カリキュラム



医師臨床研修

生涯教育へ

生涯教育

医師は、日進月歩の医学、医療を实践するために、生涯にわたって自らの知識を広げ、技能を磨き、常に研鑽する責務を負っています。
(日本医師会生涯教育 HP より抜粋)

杏林大学医学部学生の到達目標※

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
(1)-(1)(2)(4)	(1)-(1)(2)(3)(4)	(1)-(1)(2)(3)(4)	(1)-(1)(2)(3)(4)	(1)-(1)(2)(3)(4)	(1)-(1)(2)(3)(4)
(2)-1	(2)-1(3)	(2)-2(3)(4)(5)	(2)-(2)(3)(4)(5)(6)	(2)-(2)(3)(4)(5)(6)	(2)-(1)(2)(3)(4)(5)
(3)-1(2)(3)(4)(5)	(3)-1(2)(3)(4)(5)	(3)-1(2)(3)(4)(5)	7(8)(9)(10)(11)	7(8)(9)(10)(11)	6(7)(8)(9)(10)
(4)-1(3)	(4)-1(3)	(4)-1(3)	(3)-1(2)(3)(4)(5)	(3)-1(2)(3)(5)	11
(5)-1	(5)-1(2)(3)(4)	(5)-1(2)	(4)-1(2)(3)	(4)-1(2)(3)	(3)-1(2)(3)(5)
			(5)-1(2)(3)	(5)-1(2)(3)	(4)-1(2)
					(5)-1(2)(3)(4)

初期研修 (研修医) 2年

後期研修 (専攻医) 3年

※杏林大学医学部学生の到達目標

- (1) 医師の社会的責任
- (2) 医学知識と技能
- (3) 問題解決能力とリサーチマインド
- (4) コミュニケーション能力
- (5) 医学・医療と地域・社会との関わり

上記 (1)～(5) の詳細は I-11～13 を参照

臨床研修の到達目標

I 行動目標

医療人として必要な
基本姿勢・態度

- (1) 患者－医師関係
- (2) チーム医療
- (3) 問題対応能力
- (4) 安全管理
- (5) 症例呈示
- (6) 医療の社会性

II 経験目標

A 経験すべき診察法・
検査・手技

- (1) 医療面接
- (2) 基本的な身体診察法
- (3) 基本的な臨床検査
- (4) 基本的手技
- (5) 基本的治療法
- (6) 医療記録
- (7) 診療計画

B 経験すべき症状・ 病態・疾患

- 1 頻度の高い症状・
病態
- 2 緊急を要する症状・
病態
- 3 経験が求められる
疾患・病態

C 特定の医療現場の経験

- (1) 救急医療
- (2) 予防医療
- (3) 地域医療
- (4) 周産・小児・
成育医療
- (5) 精神保健・医療
- (6) 緩和ケア、
終末期医療
- (7) 地域保健

医師のキャリア

臨床医
開業医
研究医
大学院
留学
etc.

2025年4月

杏林大学医学部